

広川町特定事業主行動計画

《出産・子育てと仕事の両立に理解ある職場づくり》

令和6年4月

広川町
広川町議会
広川町選挙管理委員会
広川町代表監査委員
広川町公平委員会
広川町農業委員会
広川町教育委員会

1 目的

次の世代を担う子供たちが健やかに生まれ、安心して育てることが出来る社会の形成を目的とした、「次世代育成支援対策推進法」が平成15年7月16日に公布されました。

広川町では平成17年に「広川町特定事業主行動計画」を策定し、職員が仕事と子育ての両立を図ることができるよう職場の環境整備をおこなってきました。昨今の地方分権の進展や行政に対する住民ニーズは年々増大し、かつ複雑・高度化していますが、限られた人材でこれに応えていくことは容易ではありません。そこで「次世代育成支援対策推進法」と「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」に基づく「広川町特定事業主行動計画」を策定し、職員各々がこの計画を自分自身に関わるものとして捉え、ワークライフバランスの実現に向けて取り組んでいくこととします。この取り組みによって職場が助け合い支えあう職場づくりと次世代を担う子供たちの育成に資することを願っています。

2 計画期間

令和6年4月1日から令和10年3月31日までの4年間

3 計画の推進体制

- ① 推進委員会を設置し、実施状況や把握した結果・職員のニーズを踏まえて、その後の対策や計画見直しを行います。

- ② 次世代育成支援対策に関する管理職や職員に対する研修・講習、情報提供等を実施します。
- ③ 仕事と子育ての両立等についての相談窓口の設置を行います。
- ④ 啓発資料の作成・配布、研修・講習の実施等により、行動計画の内容を周知徹底します。

4 具体的な内容と目標について

I. 職員の勤務環境に関するもの

(1) 妊娠中及び出産後における配慮

- ① 母性保護及び母性健康管理の観点から設けられている様々な制度について周知を図ります。
- ② 出産費用の給付等の経済的支援措置について周知徹底を図ります。
- ③ 妊娠中の職員の健康や安全に配慮し、業務分担の見直しを行います。
- ④ 妊娠中の職員に対しては、本人の申請により、超過勤務を命じないこととします。

(2) 男性の子育て目的の休暇等の取得促進

- ① 子どもの出生時に父親として配偶者をサポートすることが育児の第一歩としてスタート台に立つ意味でも、特別休暇（出産補助休暇）及び年次有給休暇の取得を促進します。

(統計データ)

出産補助休暇の取得状況

	1日取得	2日取得	合計	対象者数
R3	1名	3名	4名	4名
R4	0名	3名	3名	3名

【 数値目標 】

出産補助休暇取得率（令和9年度までに）

男性職員 2日間取得	100%
------------	------

（3）育児休業等を取得しやすい環境の整備等

《育児休業及び部分休業制度等の周知》

- ① 育児休業の取得手続や経済的な支援等について情報提供を行います。
- ② 妊娠を申し出た職員に対し、個別に育児休業等の制度・手続について説明を行います。

《育児休業等体験談等に関する情報提供》

- ① 育児休業等経験者の体験談や育児休業を取得しやすい職場環境づくりの取組例など、職員に情報提供を行います。

《育児休業及び部分休業を取得しやすい雰囲気醸成》

- ① 男性職員による育児休業等について、取得できる職場の雰囲気づくりを行います。
- ② 育児休業の取得の申出があった場合、事例ごとに当該部署において業務分担の見直しを行います。
- ③ 育児休業等の制度の趣旨を徹底させ、職場の意識改革を行います。

《育児休業を取得した職員の円滑な職場復帰の支援》

- ① 育児休業中の職員に対して、職場の雰囲気や状況を把握してもらい安心して休業できるよう広報誌や通達等の送付等を行います。

《育児休業を取得した職員の代替要員の確保》

- ① 部内の人員配置等によって、育児休業中の職員の業務を遂行することが困難なときは、任期付職員による適切な代替要員の確保を図ります。

(統計データ)

育児休業を取得した職員数 (R4年度末時点)

		育児休業取得者	対象者数
R1	男性	0名	4名
	女性	0名	0名
R2	男性	0名	1名
	女性	4名	4名
R3	男性	0名	4名
	女性	1名	1名
R4	男性	1名	3名
	女性	3名	3名

【 数値目標 】

育児休業等の取得率 (令和9年度までに)

男性	30%
女性	100%

(4) 超過勤務の縮減

《就学前の超過勤務制限の周知》

- ① 小学校就学始期に達するまでの子どものいる職員の深夜勤務及び超過勤務を制限する制度について周知徹底を図ります。

《一斉定時退庁日等の実施》

- ① ノー残業デー(水曜日)を徹底するため、管理職員による定時退庁の喚起を行います。
- ② 管理職員の指導による定時退庁の実施徹底を図ります。
- ③ 定時退庁ができない職員が多い部署を人事当局が把握し、管理職員への指導の徹底を図ります。

《事務の簡素合理化の推進》

- ① 各職員が事務事業評価等を実施し効率的な事務遂行を図ります。
- ② 新たな業務等を実施する場合には、目的、効果、必要性等について十分検討のうえ実施し、併せて既存の業務との関係を整理し、代替的に廃止できるものは廃止します。
- ③ 事務処理の迅速化のためマニュアル化を図ります。

《超過勤務の縮減のための意識啓発等》

- ① 課ごとの超過勤務の状況を、人事当局等で把握し、超過勤務の多い職場の管理職からのヒアリングを行った上で、縮減に向けた対策を検討します。

《その他》

- ① ワークライフバランスの確保のためフレックスタイム制度の周知徹底を図ります

(5) 休暇の取得の促進

《年次休暇の取得の促進》

- ① 年間の年次休暇取得目標日数を設定し、その確実な実行を図ります。
- ② 各職員が少なくとも月1日程度は年次有給休暇を取得するよう声かけを図ります。
- ③ 子育て中の職員に対し、配偶者の子育ての負担軽減し、家族とともに過ごす時間の確保のために年次休暇取得促進を図ります。
- ④ 安心して職員が年次休暇の取得ができるよう、事務処理において相互応援ができる体制を整備します。
- ⑤ 所属長は、週休日、休日勤務の振替で発生した振替休日について取得状況を把握し、規定の期間内を所属長の責任において取得の促進を徹底します。

(統計データ)

職員の年次有給休暇の取得率

	平均取得日数	平均取得率
R 1	8. 2	2 1. 6 %
R 2	8. 3	2 1. 4 %
R 3	9. 9	2 6. 5 %
R 4	1 0. 5	2 8. 0 %

※年間付与日数と繰り越し日数をあわせた 40 日で試算

【 数値目標 】

職員の年次有給休暇の取得率

年間取得率	3 5 %以上
-------	---------

《連続休暇等の取得の促進》

- ① 国民の祝日や夏季休暇とあわせた年次休暇の取得促進を図ります。
- ② 職員やその家族の誕生日、結婚記念日等の家族の記念日における年次休暇の取得促進を図ります。
- ③ 子どもの学校行事等における年次休暇や特別休暇の取得促進を図ります。
- ④ ゴールデン・ウィークやお盆期間における公式会議の自粛を行います。

《子どもの看護を行う等のための、特別休暇の取得の促進》

- ① 子どもの看護休暇等の特別休暇を周知するとともに、その取得を希望する職員に対して、取得できる雰囲気醸成を図ります。
(※子どもの予防接種や健診などでも取得できる)

(6) 職場優先の環境や固定的な性別役割分担意識等の是正のための取組

- ① 女性の管理・監督職を中心に、後輩女性職員からの「仕事と家庭の両立」などに関する相談に応じる仕組みづくりを行います。
- ② 女性職員の意識向上、キャリア形成支援のために各年齢層に対して、研修会への派遣や研修会の開催などにより意識啓発を行います。
- ③ セクシュアルハラスメント・パワーハラスメント防止のための情報提供や意識啓発、研修会の開催などを行います。

(統計データ)

役職・男女別職員数 (令和5年4月現在)

	主事	主任主事	主査	係長級	課長補佐級	課長級	合計
男性	5	18	15	22	1	11	72
女性	8	7	15	10	0	2	42
合計	13	25	30	32	1	13	114

【数値目標】

管理監督職の総数のうち女性職員が占める割合

令和5年4月現在	26.0%
----------	-------



令和9年4月までに	30%
-----------	-----

Ⅱ. その他の次世代育成支援対策に関する事項

(1) 子育てバリアフリー

- ① 乳幼児と一緒に安心して来庁・利用できる環境整備を行います。

- ② 子どもを連れて人が気兼ねなく来庁できるよう、親切な応接対応等のソフト面でのバリアフリーの取組みを行います。

(2) 子ども・子育てに関する地域貢献活動の支援

- ① 子ども・子育てに関する活動等の地域貢献活動に、職員の積極的な参加を支援します。
- ② 子どもが参加する地域の活動に敷地や施設を提供します。

(3) 子どもを交通事故から守る活動の実施や支援

- ① 公用車や自家用車の運転中に交通事故を起こさないよう、職員への綱紀粛正を呼びかけます。

(4) 安全で安心して子どもを育てられる環境の整備

- ① 子どもを安全な環境で安心して育てることができるよう、地域住民等の自主的な防犯活動や少年非行防止、立ち直り支援の活動等への職員の積極的な参加を支援します。